



ニューズレター 2021 年度第3号

日本音楽表現学会 2022年3月31日発行

目 次

| | | |
|--|---------------|----|
| 【巻頭言】今、ショパンに想いを馳せて | 澤田まゆみ | 2 |
| 2022-23 年度会長・理事選挙 開票結果報告 | 選挙管理委員長 田邊健太郎 | 3 |
| 第13回（令和4年度）日本学術振興会 育志賞受賞候補者の推薦について | | 3 |
| 日本音楽表現学会第20回（ソナーレ）大会のご案内 | | 4 |
| 新入会員紹介 | | 8 |
| 日本音楽表現学会後援コンサート等情報 | | 10 |
| 会員による新刊案内 | | 11 |
| 『音楽表現学』Vol.20 原稿募集 | | 12 |
| 事務局からの重要なお知らせとお願い | | 13 |
| ソナーレ大会会場へのアクセスと参加申込について | | 16 |
| 2021 年度役員・委員等一覧 | | 16 |
| 編集後記 | | 16 |

日本音楽表現学会

所在地：〒616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail : music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費：5,000 円

振込先：A) 郵便局振込用紙利用 01370 = 6 = 78225 日本音楽表現学会

B) ゆうちょ銀行へ振込 いちさんぎゅう 一三九 (139) 店 (当座) 0078225 日本音楽表現学会



今、ショパンに想いを馳せて

澤田まゆみ (ピアノ)

ノヴォグデルデクの地を旅するものは誰も、
プウジネの黒い森にわけ入った上は、
かならずや馬を止め、
この湖をしっかりと御覧なさい。

そこに明るい空間を、
大いなる円の形にうち開き、
深い森に黒々とぐるりを縁どられ、
氷の板のように滑らかなシフティシを。

これは現在のベラルーシ共和国西部、元リトアニア大公国生まれの亡命詩人アダム・ミツキエヴィチ (Adam Mickiewicz 1798-1855) による「シフティシ」というバラードの冒頭である (出典:《ポーランド文学古典叢書》第3巻 バラードとロマンス 訳: 関口 時正、東京: 三知谷 2014)。「シフティシ」はベラルーシに実在する湖で4.5kmの周囲、最大水深が15メートルであるという。



ミツキエヴィチのバラードによれば、「時に湖の中から、恰も町中のようなざわめき、/火の手が上がり、黒鉛たちのぼり、/争いあう者のどよめきに女どもの叫び声、/打ち鳴らされる警鐘にガシャガシャと甲冑の音。」が聞こえ、湖の岸边には白い花が生い茂っている。その場所にはかつてシフティシという栄えた町があり、ロシアからの侵攻により若武者たちは兵士として立ち上がる。妻や娘たちは怒濤に迷い、みずから最期を遂げようと神に祈ったその際、神によってその白い花に変えられたという。

バラードはもともと文学や歌曲で用いられた詩形や形式の一つだが、19世紀にフレデリック・ショパン (1810-1849) が初めて器楽曲に取り入れ、ショパンは生涯に4つのバラードをピアノのために書いた。そのうちの第2番 Op.38 へ長調 (1836/1839) とこのミツキエヴィチのバラードの関連もよく指摘される。

ポーランドで生まれたショパンは20歳でワルシャワを離れウィーンに行くが、当時のロシア帝国の支配に対する武装反乱 (11月蜂起) において1831年にロシアがワルシャワ侵攻する。そして、ワルシャワの陥落をウィーンからパリに向かう途中でショパンが聞き作曲したとされるのが有名な「革命」のエチュードだ。小学生の頃、テレビドラマで話題となっていたそのショパンの「革命」のエチュードを夢中で弾きつつ、戦争も知らない子どもながら何とかショパンの想いをイメージしようとしていた。

コロナにより1年延期で開催され、日本人2名の入賞で話題となった2021年秋の第18回ショパン国際ピアノコンクールからまだ5か月ほどしか経っていない。しかし、ショパンの母国でありコンクール会場であったポーランドには今、ロシア侵攻により移動を余儀なくされた多くのウクライナの人々がいる。その女性や老人、子どもたちの姿をニュースで見ると心に痛み。約200年前と同じようなことがまさに今現実起こっているのだ。

ショパンはどのような想いでワルシャワを離れ、ウィーンそしてパリで過ごしたであろう。彼は祖国ポーランドを想い、音楽でできることを生涯やり通したのではないか。私も音楽でできることがきつとあると願いつつ、ショパンの作品やショパンの想いをぐっと身近に感じるこの頃である。



霧に包まれる湖の風景
(<https://publicdomainq.net/lake-fog-0014208>)

2022-23 年度会長・理事選挙 開票結果報告

日本音楽表現学会会長

小西 潤子 様

2022 年 3 月 20 日

2021 年度選挙管理委員会

委員長 田邊健太郎 ㊦

委員 牛渡 克之 ㊦

” 松井 萌 ㊦

2021 年度選挙管理委員会では「2022-23 年度会長・理事選挙」の開票を 2022 年 3 月 20 日（日）に本学会事務所において行いました。その結果をここに報告いたします。

記

| | 役職名 | 候補者氏名 | 得票数 | 信任の可否 |
|---|-----|-------|-------|-------|
| 1. 有権者数 603 名 | 会長 | 小西 潤子 | | ○ |
| 2. 投票者総数 306 名 | 理事 | 石原 慎司 | | ○ |
| 3. 有効投票数 301 名 | 理事 | 大竹 紀子 | 得票数削除 | ○ |
| 4. 無効票 5 名 (消印無効*) | 理事 | 小川 有紀 | | ○ |
| 5. 有効投票数における各候補者の得票数 右の表の通り。 | 理事 | 杉江 淑子 | | ○ |
| | 理事 | 寺内 大輔 | | ○ |
| 6. 信任の可否 | 理事 | 藤原 嘉文 | | ○ |
| 候補者全員が最低信任数 (151 名) を超えて いるので。全員が信任されたとした。 | 理事 | 宮本賢二郎 | | ○ |
| | 理事 | 吉田 秀文 | | ○ |

*「消印無効」について：消印有効期限は 3 月 15 日である。無効票の中 1 通には 3 月 16 日、4 通には 3 月 17 日の消印が押されていた。

第 13 回（令和 4 年度）日本学術振興会 育志賞受賞候補者の推薦について

学会からの推薦を希望される方は本学会の「日本学術振興会賞」および「育志賞」の推薦に関する内規（『音楽表現学』vol.19, p.178）をご覧の上、事務局までお申し込みください。

「日本学術振興会賞」

URL <https://www.jsps.go.jp/jsps-prize/?msclkid=4743951dab8411ecbda2e1bc988a74b1>

受付期間：2022 年 3 月 30 日（水）～ 4 月 4 日（月）17:00 必着

対象者の条件：45 歳未満。博士の学位を取得もしくは同等以上。

「日本学術振興会 育志賞」

URL <https://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/?msclkid=7057be39ab8511ecad7b2ed7fab782e4>

受付期間：2022 年 5 月 26 日（木）～ 5 月 31 日（火）17:00 必着

対象者の条件：34 歳未満。博士の学位を取得もしくは同等以上。

申し出のあった会員の中から本学会として推薦するにふさわしいと思われる方を理事会にて 1 名選出します。候補者として選ばれた方は、受付期間に書類を整えて準備、学術振興会に電子申請することになります。ご質問等がありましたら事務局 music-expression@music-expression.sakura.ne.jp までご連絡下さい。

日本音楽表現学会 第20回（ソナーレ）大会のご案内

楽器から考える地球の未来

ーソナーレ大会への想いー

日本音楽表現学会会長 小西 潤子

仲春のみぎり、新しい生活スタイルも3年目に入りました。この間、無慈悲な自然の力を恐れ、限界に挑戦する人間の力に励まされ、国益を巡る無残な争いに心を痛める日々を過ごしてこられたことと思います。地球上で繰り広げられる出来事が瞬時に伝わってくる今だからこそ、私たちひとりひとりが「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、小さな努力を積み重ねることの重要性を再認識すべきではないでしょうか。

楽器の街・浜松にて開催される第20回日本音楽表現学会ソナーレ大会では、基調講演、レクチャー・コンサートを通して、音楽こそがSDGsを牽引し、地球の未来を創る力を発揮することを皆様と共に考えます。楽器は、私たちと音楽の世界を媒介するモノというだけでなく、身近な自然の素材を使って生みだされ、改良を続けられながら私たちに手渡された文化の賜物です。楽器の発する音に耳を傾け、楽器に語りかけていく…そんなひと時を過ごせることを願っています。

第20回「ソナーレ」大会へのご招待

大会実行委員長 高久 新吾

今年の全国大会は東海道のど真ん中にある浜名湖の東側、浜松にて行うことになりました。遠州地方の「濱松」は旧東海道五十三次の江戸から数えて23番目の宿場・城下町で、特に浜松城は徳川家康など城主の多くが後に江戸幕府の重鎮に出世したことから「出世城」といわれています。また皆さまご存知のように、楽器や自動車産業がとて盛んな工業都市で、日本の三大楽器メーカーであるヤマハ、河合楽器、ローランドが浜松に本社を構えており、人口は静岡県最大の約80万人を誇る政令指定都市です。

交通アクセスは東京～大阪のほぼ中間に位置し、新幹線ひかり号にてそれぞれ約1時間20分ほどで到着できます。浜松学院大学はそのJR浜松駅から10分強という好立地に恵まれ、周辺には大学や高校などが密集している文教地区にあります。

今回は節目の20回大会ということで、昨年までのオンライン開催から対面開催へ向けて委員一同張り切っております。また浜松にはうなぎや餃子、地酒などのグルメもお楽しみいただけます。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

会場：浜松学院大学布橋キャンパス（浜松市中区布橋三丁目2番3号）

1) 大会実行委員会組織（敬称略）：実行委員会

委員長：高久 新吾（浜松学院大学）

事務局長：宮本賢二郎（岐阜聖徳学園大学）

委員：内山 尚美（静岡英和学院大学）

入江 真理（静岡産業大学）

久次米祐江（ピアニスト）

齋藤絵里子（浜松学院大学）

中楯 有起（浜松学院大学）

二宮 貴之（聖隷クリストファー大学）

2) 大会日程：2022年6月18日（土）-19日（日）

3) 開催方法：

共 催：浜松学院大学

後 援：未定

開催方法：全プログラムを対面で行う。

ただし、コロナ流行の状況によってはオンライン導入の可能性も探る。

【日 程】

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|------------------|
| 17日(金) | | | | | | | | | | | | 16:00→19:00 |
| | | | | | | | | | | | | 理事会→実行委員会と共に会場設営 |
| 18日(土) | 10:00 | 12:20 | 13:00 | 13:25 | 13:55 | 14:10 | 15:25 | 15:40 | 16:50 | 17:10 | 18:10 | |
| | 会場準備 | 受付 | 開会式 | 基調講演 | レクチャー・コンサート | 休憩 | 総会 | | | サロン | | |
| 19日(日) | 8:30 | 9:00 | 10:30 | 10:45 | 12:15 | 13:15 | 14:45 | 15:00 | 16:30 | 18:30 | | |
| | 受付 | 研究発表Ⅰ | | 研究発表Ⅱ | 昼食休憩 | 研究発表Ⅲ | | 研究発表Ⅳ | | 撤収・復元、理事会 | | |

【プログラム】

オープニング：ラッパ隊 浜松市内ラッパ隊有志

基調講演：嶋 和彦（浜松市楽器博物館前館長）

演題：「楽器をめぐる自然と文化」

レクチャーとコンサート：「楽器を作る・創る・奏でる—楽器から考える音楽表現の持続可能性—」

総合企画：小西 潤子（民族音楽学）

出演：仲嶺 幹（沖縄県三線製作事業協同組合事務局長）「持続可能な沖縄の三線製作と『三線ツーリズム』の提案」

安藤 政輝・安藤 珠希（生田流箏曲演奏家）「邦楽器が抱える諸問題」

寺内 大輔（作曲家）「ヒューマンインターフェイスとしての楽器」

サロン： 専門分野/関心分野を同じくする参加者が共通の話題・テーマについて話し合うサロン。本年は開催形態が流動的であるため、準備が難しいこともあり、この機会にあらたな編成にはどうか？という提案があります。そこで、一部屋に集まり、これまでを振り返り、総括をして、例えば専門分野の垣根を越えて scrap & build を計りたいと考えました。今回は個別サロンではなく、集合形態となります。

研究発表

| 会場 | 司会 | 発表者 | 発表題目 |
|----|----|-----|------|
|----|----|-----|------|

時間帯Ⅰ ① 9:00-9:40 ② 9:45-10:25

A 舟橋三十子 ①新海 節・赤塚 太郎

伴奏ピアニストの歌曲伴奏時の視線計測—伴奏ピアニスト養成における伴奏法への応用検討—

②安田 香

ベルクの作品における多様な書法・要素の並置と楽曲統一志向の関係

B 木下 千代 ①初山 陽子

W. バードのコンサートソングから声楽作品への変換—歌詞の扱いに着目して—

②三島 郁

19世紀前半の「ファンタジーレン」—チェルニーのファンタジー概念と実際を中心に—

C 稲木 真司 ①小島 エマ・高井 翔海

0歳からの音楽環境作りのために—「音楽教師のためのミュージシャンシップ研究会」を通して見えてきた課題—

②高井 翔海

移動ドのピアノ教育とは？ソルフェージュ重視のアメリカ式即興・作曲・読譜学習について

D 吉田 直子 ②山崎 英明

保育士養成大学における音楽科目の指導内容に関する考察 (2)

E 後藤 丹 ①彭 子

シェンカー理論を基礎的な音楽認知能力の育成に活かす教育実践研究

②阿部 亮太郎

公害やコロナ禍の状況下での「前向きなイベント」にある落とし穴

時間帯Ⅱ ① 10:45-11:25 ② 11:30-12:10

A 石原 慎司 ①内崎 章太

ベートーヴェンが用いたレガート・ペダル —ピアノ・ソナタに書き込まれたペダル指示からの考察—

②田中 宏明

バッハとヘンデルの鍵盤組曲に共通するイギリス的な要素

B 上山 典子 ①榊原 明子

コロナ禍における音楽の役割とコンサートのあり方についての一考察

—オンデマンド・コンサートを通して—

②中畑 淳

室内楽曲におけるピアノパートの指導 (2)

C 小川 容子 ①尾見 敦子

コダーイ・メソッドによる鑑賞指導の提唱—能動的聴取と音楽的思考を引き出すストラテジー

と "Music for Everyone" の教育哲学—

②大武 美千代

ベップルによるジャック＝ダルクローズの教育法の歴史的立場に関する一考察—「100 年前と今日の学校歌唱の目的 ネーグリ、ジャック＝ダルクローズ」を中心に—

D 小島 千か ①近藤 茂之

動画投稿によるピアノ実技指導について② —教員作成の動画による指導実践の教育的効果と課題—

②岡 ひろみ

特別支援学校における音楽づくり —打楽器奏者とともに —

E 寺内 大輔 ①奥 忍

ムソルグスキーの「バーバ・ヤガーの小屋」探訪

②檜垣 智也

電子音響音楽とアコースモニウムのサスティナビリティ

時間帯Ⅲ ① 13:15-13:55 ② 14:00-14:40

A 豊田 典子 ①小笠原 真也・宮田 知絵

本居長世：曲 / 野口雨情：詩による〈十五夜お月さん〉その作品研究

②宮田 知絵・造座 千晴

ピアノ伴奏者と歌い手 —伴奏を越えた幸福な協演を求めて —

B 中村 隆夫 ①竹内 由紀子

音楽的基礎力を育成するソルフェージュ教材の開発に向けて

②鷺野 彰子

20 世紀の演奏会における前奏演奏という装置：ホフマンとバックハウスの演奏実践分析

C 水戸 博道 ①佐藤 和貴

情報機器を活用した音声表現によるソルフェージュ能力獲得支援の実践

②北村 はるか

高齢期におけるテンポ同期・テンポ維持の検討—音楽訓練と自発テンポの関連から—

D 杉江 淑子 ①井越 尚美・佐野 仁美・岡林 典子

小学校中学年の旋律づくりの試み (Ⅲ) —韓国系国際学校の子どもたちに焦点をあてて—

②近藤 真子・渡辺 行野・水谷 早紀

音楽科教育で不易なものは何か —学習指導要領総則の変遷から紐解く —

時間帯Ⅳ ① 15:00-15:40 ② 15:45-16:30

A 小川 有紀 ①藤原 嘉文

音楽の即興表現を考える (10)

②澤田 まゆみ

短調主和音と六度和音—ショパン、リスト、ブラームスのバラードにおける曲構造とその表現

B 酒井 勇也 ①岡田 正樹

日本におけるギター・タブラチュアの導入と普及

②宮下 玲衣

三善晃の記譜法に関する一考察—独奏ヴァイオリンのための《鏡》(1981)を例に—

C 長谷川正規 ①田中 昌司

演奏の脳内表現に関わる聴覚関連野ネットワークの右半球優位性の意味

②大西 亜希子・田中 昌司

クラリネット演奏時の脳活動と各部位の接続性に関する考察

E 渡辺 修身 ①梅村 憲子

声と箏による新しい表現の可能性を拓く

②清水 稔

On-line 上の音楽創作における Co-creation の可能性

5) 日本音楽表現学会第20回(ソナーレ)大会の参加申込について

参加申込手順:今回は Google Form でお願ひします。

- ① 参加費と年会費の納入を確認してからエントリーしてください。
- ② プライバシー保護の観点から参加者の特定には会員番号を用います。会員番号は今回の封筒の宛名シールに記されています。
非会員の方には、お申し込みいただいたときに大会用参加番号をお知らせしますので、以後はその番号をお使い下さい。
- ③ 参加費や年会費の納入状況に関する質問が含まれています。yy年mm月dd日というように2桁でお答え下さい。
- ④ 学会員で大会あるいは総会に欠席される方は Form 中にある「委任状」の項目に必ずお答え下さい。

参加費納入:ゆうちょ銀行「00210=5=142606」(または029店 当座142606)日本音楽表現学会大会に払込をお願いします。

| | | |
|-----------|-----------|--------------------------|
| 学会員 | 6,000円 | |
| 学会員以外(一般) | 3,500円/1日 | 7,000円/2日(『大会要項付』) |
| (学部学生) | 1,000円/1日 | 2,000円/2日(『大会要項』500円で別売) |

参加申込〆切:2022年6月6日(月)24:00厳守です。今回は原則対面ですが、事務局の作業は、予備的にオンラインの準備もしますので大変煩雑になることが予想されます。申込日時の厳守を切にお願いします。

その他:19日(日)の学食は閉店です。弁当を申し込むか、各自で適宜ご準備下さい。

なお、大学から徒歩約3分の個所に小さなコンビニもあります。

新入会員紹介

個人情報につき伏せています。

個人情報につき伏せています。

日本音楽表現学会後援コンサート等情報

鶴澤 友球さん

第12回 どんぐり浄瑠璃ミニライブ

日 時：2022年2月12日(土)13:30開演(13:00開場)

会 場：レンタルスペースどんぐり(多可町加美区)

料 金：1,000円

出 演 者：鶴澤友球

主な曲目：『伽羅先代萩』〈政岡忠義の段〉

主 催：鶴澤友球会 共催：レンタルスペースどんぐり

問合せ先：TEL 0799-62-5805(鶴澤友球会事務局)

松浦 伸吾さん

【C3】Vol.2 / 【立方C】第二回演奏会

日 時：2022年3月1日(火)19:00開演

会 場：大阪市立阿倍野区民センター 小ホール

主な曲目：ジョルジュ・アペルギス/Pub I(2000) 八村義夫/彼岸花の幻想 作品6(1969)

エルネスト・ブロッホ/『二つの小品』より 行列儀礼(1956)

松浦伸吾/ひらみかなる(2009) 境界線より(2020世界初演) 他

連絡先：【C3】project team <http://rippou-c.net/wp/info@rippou-c.net>

澤田まゆみさん

澤田まゆみピアノリサイタル my favorites vol.7

～ベーゼンドルファーで語るバラード

日 時：2022年3月11日(金)19:00開演

会 場：東京文化会館 小ホール

料 金：4,000円

出 演 者：澤田まゆみ(ピアノ)

主な曲目：ブラームス/4つのバラード Op.10、リスト/バラード第2番

ドビュッシー/バラード、ショパン/バラード第2、3、4番

問合せ先：新演コンサート 03-6384-2498

河原 千尋さん

河原千尋ピアノコンサート

日 時：2022年3月12日(土)14時開演

会 場：ベヒシュタイン・セントラム東京ザール

料 金：3,000円

出 演 者：河原千尋

主な曲目：J.S. バッハ/半音階的幻想曲とフーガ、パルティータ第4番

徳山美奈子/序の舞 他

問合せ先：info@kawaharapf.com

鶴澤 友球さん

第13回 どんぐり浄瑠璃ミニライブ

日 時：2022年3月12日(土)13:30開演(13:00開場)

会 場：レンタルスペースどんぐり(多可町加美区)

料 金：1,000円

出 演 者：鶴澤友球

主な曲目：『一谷嫩軍記』〈二段目 組討の段〉

主 催：鶴澤友球会 共催：レンタルスペースどんぐり

問合せ先：TEL 0799-62-5805(鶴澤友球会事務局)

鶴澤 友球さん **鶴澤友球 春陽公演 義太夫の光**
日 時：2022年3月19日(土)13:00開演(12:30開場)
会 場：淡路市立サンシャインホール(淡路市浦148-1)
料 金：前売2,000円 当日2,500円 全席自由 高校生以下先着100名無料
出 演 者：豊竹呂秀・鶴澤友球・常磐津美佐希・常磐津三都貴・鶴澤友球会会員
主な曲目：『壺坂観音霊験記』〈沢市内の段〉、『絵本太功記』〈十段目 尼ヶ崎の段〉他
主 催：神戸国際ステージサービス株式会社 共催：鶴澤友球会
問合せ先：神戸国際ステージサービス株式会社 TEL 078-230-3310

安藤 政輝さん **安藤政輝リサイタル 宮城道雄全作品連続演奏会 22**
日 時：2022年4月17日(日)14:00開演(13:15開場)
会 場：紀尾井小ホール
料 金：前売4,500円/当日売5,000円
出 演 者：安藤政輝/安藤珠希
主な曲目：《飛鳥の夢》《編曲八千代獅子》《初秋の夕》他、昭和25～26年の作品
問合せ先：TEL 03-3425-3939 / MAIL ando.masateru@gmail.com (安藤)

豊田 典子さん **歌の会★青い星が贈る世界の名歌100曲リクエストコンサート Vol.5**
日 時：2022年8月11日(日)14:00開演(13:30開場)
会 場：国際楽器社ホール
料 金：前売券2,500円 当日券3,000円
出 演 者：豊田典子
主な曲目：貴志康一/赤いかんざし、團伊玖磨/紫陽花、マスカーニ/アヴェ・マリア 他
問合せ先：(株)国際楽器社 06-6252-0222

会員による新刊紹介

中西紗織さん、他 『村井範子が語る日本における音楽学研究のあけぼのとその時代』
出 版 社：芸術現代社
判型・頁数：A5判 368頁
定 価：3,300円(税込)
発行年月：2021年2月
I S B N：978-4874632192

吉田直子さん、他 『～初心者のための基礎から学ぶ～おんがく理論』
出 版 社：ファウエム・ミュージック・コーポレーション
判型・頁数：B4判 127頁
定 価：1,430円(税込)
発行年月日：2022年1月11日
I S B N：978-4991172113
ウェブショップ：<http://www.fauem.co.jp/product/ongakuriron/>

舟橋三十子さん 『和音の正体 ～和音の成り立ち、仕組み、進化の歴史～』
出 版 社：ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス
判型・頁数：A5判 224頁
発行年月日：2022年2月24日
定 価：1,980円(税込)
I S B N：4636968913

『音楽表現学』 Vol.20 原稿募集

〆切は 2022 年 5 月 15 日 (日) 24:00 です。

『音楽表現学』編集委員長 渡辺 修身

投稿資格：投稿者および共同執筆者は、「その年度までの年会費を納入した会員に限る」（投稿規定3）

執筆要領・投稿方法：『音楽表現学』Vol.19の巻末、または学会HPの「投稿規定」をご覧ください。

投稿書式：投稿時点では2段組でなく、1段組でご応募ください。

引用文献の記載方法：HPに例示しています。

執筆方法：本学会発行『2020年版音楽表現論文執筆のしおり』を参考にされることをお勧めします。

*投稿する前に、ご自身が上記「投稿資格」に該当することをご確認ください。

*本学会発行『2020年版音楽表現論文執筆のしおり』を座右にご執筆ください。執筆者の意図が読み手に伝わるかどうか、投稿前に周りの知人に一度読んでもらうことをご勧めします。

*応募原稿が論文及び学術誌の原著性を損ない、論文の著作権の帰属に関する問題や研究実績の不当な水増しにもつながり得る「研究者倫理に反する行為」にならないよう注意してください(文部科学省ガイドライン)。

*投稿に際しては学会HPに掲載されている「音楽表現学テンプレート」をご使用ください。

*投稿する前に、投稿予定の原稿が学会HPの「投稿チェックリスト」に適合していることをご確認下さい。

*投稿原稿には学会HPに示された書式の「投稿申込書」を同封してください。

*『音楽表現学』には「原著論文」「評論論文」「研究報告」の他に「批評」「書評」「寄書」「展望」「解説」「その他、国際会議参加報告、研究会・研究所紹介等」も掲載できます。執筆に挑戦してみようとお考えの方はどうぞ学会事務局までお問い合わせください。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

数多くの会員の皆さまが日頃、演奏をはじめとして様々な音楽表現に関する活動をしておられます。またそのために大いに研鑽を積んでおられることでしょう。その研鑽の記録、演奏表現の比較、演奏表現の問題点などを文章にしてみたいかがでしよう。会員の皆さまの活動が論文や記事の形で残されるならば、本学会の存在がますます重みを増すものになると考えます。

「人に読んでもらう、理解してもらう」投稿原稿を作成するために次の諸点に留意されるようお勧めします。

- ① 最初に本学会発行の『2020年度版音楽表現論文執筆のしおり』を一読されることをお勧めします。『しおり』にはこれから書こうとする人のために多くのヒントや練習が記載されています。今年度版では「論文等の評価の視点」などを追加しています。
- ② 原稿完成を締切日の1週間前を目処にして作成されることを強くお勧めします。
- ③ 「完成した」と思ったら一晩寝かせてください。
- ④ 翌日、完成した原稿と「投稿チェックリスト」の項目を照合して、原稿が各項目を充足しているか、確認してください。
- ⑤ 同時に周りのだれかに読んでもらいましょう。他の分野の方でも構いません。読んでもらうことによって、自分の主張・意図を自分が考えているように理解してもらえるかどうか分かります。
- ⑥ 採択される原稿の多くは、以下のような要件を備えているといえます。
 - ・『音楽表現学』の掲載原稿として、内容や主題が適切である。すなわち、問題設定と研究方法・研究対象が、音楽表現研究として妥当であり、説得力がある。
 - ・関連する先行研究を十分にふまえた上で、未発表の原稿としてオリジナリティがある。
 - ・標題が内容を適切・正確に表している。
 - ・論旨の展開に矛盾や飛躍がない。
 - ・章・節の構成や順番が適切である。
 - ・結論は、はじめの問題設定に答えるものとなっている。
 - ・扱われている資料は信頼できるものであり、資料の解釈には妥当性がある。
 - ・『音楽表現学』の読者(音楽家・音楽研究者)が必ずしもその問題や領域の専門家であるとは限らないことを配慮している。
 - ・文章は明晰で、特殊な用語や表現などは正確に説明されている。
 - ・文章の引用方法や注・文献表記、譜例や図表は書式に揃っている。
- ⑦ 演奏する曲を何度も繰り返し練習するように、自分の文章も何度も読み直して推敲しましょう。

皆さまの投稿をお待ちします。

事務局からの重要なお知らせとお願い

1. 年会費の納入について

(1) 納入期限：その年度の4月1日から大会開催2週間前までをお願いします。

学会は皆様方の年会費で運営されています。滞納されますと、機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたします。例年年度当初(4月)に速やかな納入をお願いしています。今年度の会費をまだお振り込みでない方はお急ぎください。なお、3年滞納された方は、総会での審議事項、年会費滞納による除籍対象者になります。無意識滞納にご注意いただきますと同時に、対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」)に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。

(2) 振込方法：

- ・年会費納入方法の合理化のために、昨年度から「ゆうちょダイレクト等ネットバンキング」に入金できる方法も導入しました。ネットやコンビニ等を利用して、銀行や郵便局に行かなくても納入が可能です。もちろん従来の「払込取扱票」でも構いません。年度当初の速やかな納入をお願いします。

- ・年会費納入方法：A) 郵便局からの振込(払込取扱票を利用)

(記号一番号) 01370 =6= 78225 加入者名：日本音楽表現学会

B) 他行等からの振込(店名-口座番号) いちさんきゅう

店名 一三九(139)店 預金種目：当座 口座番号：0078225

(3) 領収書・請求書の発行：必要な方は事務局へお問い合わせ下さい。

領収書は原則として発行いたしません。「振替払込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」)を領収書として保管ください。

大学研究費での引き落とし等、請求書・領収書の必要な方は事務局へお問い合わせください。財務局へ取次ぎ、発行手続きをいたします。

(4) 年会費減免措置について：自然災害等の被災による減免措置の制度 学会では、地震や洪水等、自然災害の被災によって年会費納入が困難な会員の年会費を減免する制度があります。必要な方は、HPから以下の書式をダウンロードし、申請ください。理事会に諮り、減免手続きをいたします。

「年会費減免願」書式(20170321版)：

| | |
|---|-------|
| 被災による年会費減免願 | |
| 年 月 日 | |
| 日本音楽表現学会 | |
| 会長 小西 潤子 様 | |
| このたび、(〇〇地震)被災により、(〇〇〇〇年度)年会費の納入免除をお願いいたしたく、減免願を提出いたします。 | |
| なお、(□□□□)年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。 | |
| 氏 名： | _____ |
| 現在の連絡先： | _____ |
| 連絡先電話番号： | _____ |
| e-mailアドレス： | _____ |
| 減免申請の理由(具体的に納付困難の理由をお記してください。) | |

2. 住所等、会員情報の変更：HPフォームにて速やかにお知らせをお願いします。

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

学会からの送付物は事務局本部で理事とスタッフが手作業で、お届けいただいた連絡先にお送りしています。しかしながら、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせさせて再送しています。また、経費節減のために学会からの郵送物は郵送ではなく、「デリバリーサービス」を使っています。郵便局宛の住所変更届は民間配送業者には届きません。学会からの送付物が必ずお手元に届くように、また返送による送付作業の手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。

郵送物の住所変更届を郵便局に提出されても民間配送業者には届きません。

3. 学会員のサポート制度

(1) 機関誌『音楽表現学』への投稿

原稿の投稿には、会員資格と当該年度までの会費を完納していることが必要条件です。手続きには2～3週間かかります。その点ご確認ください。

『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

投稿〆切は5月15日24:00です。

(2) 大会での発表

本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。〆切期日は厳守ですので各自で明記してください。

大会発表応募〆切は、2月15日24:00です。

4. 会員への情報公開

(1) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。研究ノート、随想などを図表等を含めて刷り上がり1頁以内でお送りください。

(2) コンサート等の後援・協賛

右記申請フォームに必要事項を記載し、メール添付ファイルにて学会事務局に申請してください（各項目は1行39字以内を原則とします）。ホームページのリンク〔コンサート等後援／協賛申請フォーム〕から申請することもできます。確認後、事務局より「後援受理書」をお送りしますので、チラシやプログラムに学会名を掲載ください。HP及びニュースレターにも案内を掲載します。出演者氏名の掲載は会員のみとなります。事務局からの返信が1週間以内に届かない場合は、事務局にご連絡ください。

〔コンサート等後援／協賛申請フォーム〕

(文例) 以下のコンサートの後援をお願いします。

会員氏名： _____

演奏会タイトル： _____

日 時： _____

会 場： _____

料 金： _____

出 演 者： (NLには会員名のみ掲載) _____

主な曲目： (原則として1行で39字以内) _____

問い合わせ先： ホール電話番号 _____

*個人の携帯番号・メールアドレスはセキュリティ上、本会としては記載不可といたします

(3) 新刊案内・CD/DVD リリース

ニューズレターとHPに掲載します。

- ・新刊案内の項目は著者名（会員）、書名、ISBN、出版社、発行年月日、判型と頁数、税込価格（税抜価格）、購入方法など
- ・CD, DVD の項目は制作・編集者名（会員）、タイトル、DVD-No.、所要時間、発売・販売、発行年月日、税込価格（本体価格）、購入方法など

(4) その他：隣接領域の研究会等情報などもお寄せください。

投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

5. 学会発刊の書籍の販売について

(1) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法と価格

メール等で事務局までお申し込みください。

代金は、到着後郵便振替でお願いします。大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

| Vol. | 会員価格（1部） | 一般価格（1部） |
|------|-----------|-----------|
| 1～3 | 2,500円+送料 | 3,000円+送料 |
| 4～14 | 3,000円+送料 | 3,500円+送料 |
| 15以降 | 2,500円+送料 | 3,000円+送料 |

(2) 『音楽表現学のフィールド2』好評発売中。

メール等で事務局までお申し込みください。

会員価格にて購入いただけます。代金は、到着後書籍に同封の郵便振替でお願いします。

会員価格：3,000円（正価×0.9-α、税込・送料込み）

一般価格：3,456円（税抜3,200円）

[購入申込書]

『音楽表現学のフィールド2』の購入を申し込みます。

氏名：_____

部数：_____

送付先：_____

連絡用E-mail：_____

6. 入会手続きについて

メール添付でお願いします。

本会機関誌への投稿や大会での発表の申込みは本会会員であることが条件です。手続きには2～3週間かかります。以下の書式を用いてメールで早めにお申し込みください。

- ・入会申込書はHPからもダウンロードできます。
- ・学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。
- ・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

[入会申込書フォーム]

| 入 会 申 込 書 | |
|--|-------|
| 日本音楽表現学会に入会を申し込みます。 | |
| 年 月 日 | |
| 氏名（ふりがな）： | _____ |
| 専門分野： | _____ |
| 会員種別：該当項目に✓を記して下さい。 | |
| <input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 学生会員（学部学生のみ） | |
| 所 属： | _____ |
| （学生は学年も記して下さい。） | |
| 自宅住所：〒 | _____ |
| 連絡先：（上記と異なる場合）〒 | _____ |
| 連絡先 Tel. あれば携帯 Tel.： | _____ |
| e-mail：（半角） | _____ |
| 推薦者名（学生会員・1名） | _____ |
| 学生会員に推薦者がいない場合には、事務局 にご相談ください。 | |
| 学会に期待されること。ご意見等： | |

7. 退会手続きについて

メール添付でお願いします。

退会には以下の3点が必要です。「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第8条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

- ① 「退会届」をHPからダウンロードし、事務局に提出
- ② その年度までの年会費完納
- ③ 理事会の承認

[退会願書フォーム]

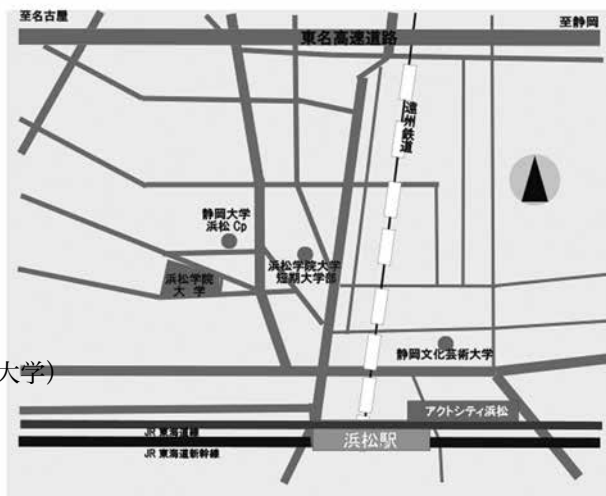
| 退 会 願 | |
|-------------------------------------|-------|
| 年 月 日 | |
| 日本音楽表現学会 会長 様 | |
| このたび、日本音楽表現学会を退会したいので「退会願」を提出いたします。 | |
| なお、今年度分までの会費は納入済みですのご確認をお願いいたします。 | |
| 氏 名： | _____ |
| 連絡先： | _____ |
| 連絡先 Tel.： | _____ |
| e-mail： | _____ |
| 退会理由： | _____ |

(ソナーレ) 大会会場へのアクセスと参加申込について

会 場：浜松学院大学布橋キャンパス（浜松市中区布橋三丁目2番3号）

会 期：2022年6月18日（土）-19日（日）

実行委員会 委員長：高久 新吾（浜松学院大学）
 事務局長：宮本賢二郎（岐阜聖徳学園大学）
 委員：内山 尚美（静岡英和学院大学）
 入江 真理（静岡産業大学）
 久次米祐江（ピアニスト）
 齋藤絵里子（浜松学院大学）
 中楯 有起（浜松学院大学）
 二宮 貴之（聖隷クリストファー大学）



会場への主なアクセス：JR 浜松駅北口遠鉄バスターミナル

1 番ポール発車のいずれかのバス

30 箱山寺線

36 ゆう・おおひとみ ひとみヶ丘線

37 神ヶ谷 山崎線

以上いずれかのバスに乗りし「浜松学院大」下車（所要時間約11分）運賃（片道）210円
 なお、遠鉄バスは、Suica, ICOCAなどの全国交通系ICカードは使用不可です。

【ソナーレ】 ラテン語で「響かせる」を意味する。この名前の防音システム開発会社もあるようです。しかし、大会では語本来の意味を重視して、人間がこれまでに追い求めてきた響き、工夫、理念と具体について考えを深めましょう。

2021年度役員・委員等一覧

| | | |
|-------------------|-----------|---------------|
| 会 長：小西 潤子 | 著作権ワーキング： | 会長諮問会議：安藤 政輝 |
| 副 会 長：山名 敏之 藤原 嘉文 | 代表 福本 康之 | 佐々木正利 |
| 事務局長：小野 亮祐 | 委員 近藤 晶子 | 後藤 丹 |
| 財務局長：渡会 純一 | 酒井 勇也 | 参与： 中村 隆夫 |
| 理 事：杉江 淑子（事務局担当） | 高橋 豊 | 安田 香 |
| 上山 典子（財務局担当） | 中村 滋延 | 参事：（事務局）近藤 晶子 |
| 澤田まゆみ（総務担当） | 選挙管理委員会： | 長山 弘 |
| 寺内 大輔（総務担当） | 委員長 田邊健太郎 | 似内裕美子 |
| 編集委員会： | 委員 牛渡 克之 | 松井 萌 |
| 委員長 渡辺 修身 | 松井 萌 | デザイン室長：奥 忍 |
| 副委員長 小川 容子 | 監事： | 参事：（D室）中村 公俊 |
| 委員 稲木 真司 田中 宏明 | 海津 幸子 | （スタッフ）：稲垣 真世 |
| 田中 昌司 豊田 典子 | 小川 有紀 | |
| 長谷川正規 三島 郁 | | |

編集後記

今年度最後のニューズレターとなりました。澤田まゆみさんから寄せいただいた巻頭言からは、政治、文化、人々の生活、そしてそのなかでの音楽家の存在意義をあらためて考えさせられます。日本音楽表現学会第20回（ソナーレ）大会については、その全貌が徐々にはっきりしてきました。大会でお目にかかれるのを楽しみにしています。「新入会員紹介」「日本音楽表現学会後援コンサート等情報」「会員による新刊案内」は、単なるお知らせというだけでなく、会員相互の親睦の媒介としてもお読み頂ければ幸いです。（寺内大輔）